

あ　　び　　ら　　が　　わ　　に　　き **国営かんがい排水事業　安平川（二期）地区**

事業の概要

本事業は、北海道勇払郡安平町の水田185ha、畑1,246haを対象に、安定的な農業用水を確保するため夕張シューパロダム（国営かんがい排水事業「道央用水地区」）に水源を依存し、揚水機1箇所（新設）、用水路11.7km（新設）、（一期地区を含む全体：頭首工1箇所（改修）、揚水機2箇所（新設）、用水路30.1km（新設）、排水路4.1km（改修））を整備するものである。

事業の目的・必要性

本地区の水田へのかんがい用水は、安平川を水源としているが、河川流況の変動により用水不足をきたしているとともに、代かき期間の短縮、深水かんがい等の用水が確保されていない。また、用水施設は老朽化により維持管理に多大な費用を要している。

一方、畑の用水は、降雨に依存せざるを得ない状況にあり、安定的なかんがい用水の確保がなされていない。

このため、本事業では頭首工、揚水機、用水路及び排水路を整備するとともに、取水施設の統廃合を行い、併せて、関連事業による用排水施設、ほ場を整備し土地生産性の向上、農作業の効率化、水管理の合理化を図り、農業経営の安定、地域農業の振興に資するものである。

事業の効率性

本事業により、頭首工、揚水機、用水路及び排水路を整備するとともに、併せて関連事業で用排水施設、ほ場を整備し、土地生産性の向上、農作業の効率化、水管理の合理化を図り、10a当たり約40千円の農業生産の向上と約12千円の営農経費の節減が図られ、年間1,294百万円の事業効果が発現し、農業経営の安定が図られる。

投資効率の算定

区 分	算定式	数 値	備 考
総事業費	①	16,324百万円	
効 用	②	1,294百万円	
廃用損失額	③	48百万円	廃止する施設の残存価値
総合耐用年数	④	36年	当該事業の耐用年数
還元率×（1＋建設利息率）	⑤	0.0744	総合耐用年数に応じ、効用から総便益を算定するための係数
総便益	⑥＝②/⑤－③	17,350百万円	
費用便益比	⑦＝⑥/①	1.06	

（注1）総便益、総事業費には一期事業及び関連事業を含む。

（注2）百万円単位で四捨五入しているため総便益は算定結果と合わない場合がある。

年効果額

・農作物生産量の差	402百万円
・農作物の品質の向上の差	171百万円
・営農経費の差	176百万円
・施設の維持管理費の差	△ 35百万円
・施設更新による現況施設機能の維持	94百万円
・道路等の付け替えによる公共施設の機能の維持等	55百万円
・河川流況の安定による利用可能量の増加	430百万円
・魚類に配慮した魚道等の設置による生息環境の保全	1百万円
計	1,294百万円

日程・手続

平成16年7月28日に事業全体の第1回計画変更が確定している。

事業に対する決議

平成20年6月12日に国及び支庁並びに関係する町、JA、土地改良区で構成された「国営かんがい排水事業安平川地区推進検討委員会」において、安平川（二期）地区の平成21年度新規着工について決議している。

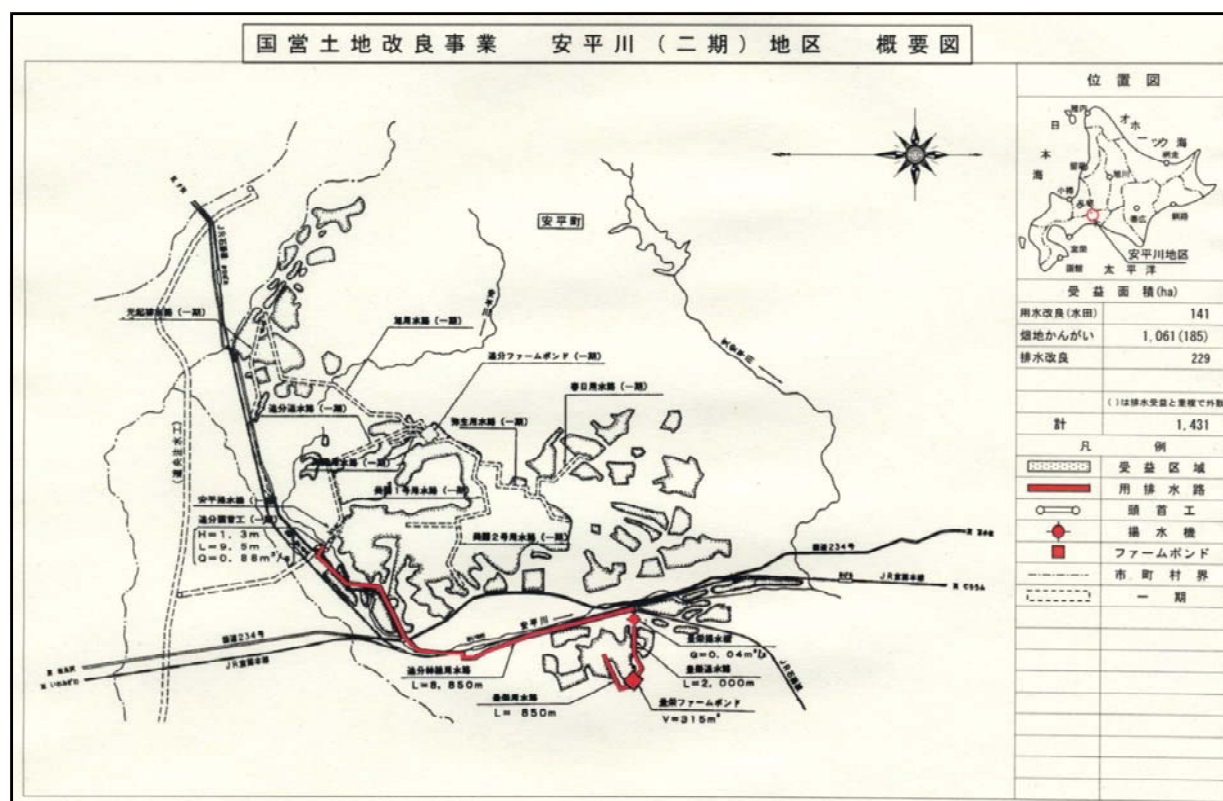
評価担当部局

農村振興局

概要図

1. 受益面積	1,431ha		
2. 受益者数	115人		
3. 主要工事計画	工 種	数 量	事 業 費
	頭首工（改修）	（1箇所）	（5,001百万円）
	揚水機（新設）	（2箇所） 1箇所	（ 838百万円） 316百万円
	用水路（新設）	（30.1km） 11.7km	（3,590百万円） 1,384百万円
	排水路（改修）	（4.1km）	（ 971百万円）
国営総事業費	（10,400百万円） 1,700百万円		

（ ）は一期事業を含む全体額である。



平成21年度 新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：北海道開発局）（地区名：安平川（二期）^{あびらかわ}）

1. 必須事項

項 目	評 価 の 内 容	判定
1. 事業の必要性が明確であること。（必要性）	・ 農業生産性の向上、農業総生産の維持・増大、農業生産の選択的拡大、農業構造の改善等の観点から、当該事業を必要とすること。	○
2. 技術的可能性が確実であること。	・ 地形、地質、水利状況等からみて、当該事業の施行が技術的に可能であること。	○
3. 事業の効率性が十分見込まれること。（効率性）	・ 当該事業のすべての効用がそのすべての費用を償うこと。	○
4. 農家負担の可能性が十分であること。（公平性）	・ 当該事業の費用に係る受益農家の負担が、農業経営の状況からみて、負担能力の限度を超えることとはならないこと。	○
5. 環境との調和に配慮していること。	・ 当該事業が環境との調和に配慮したものであること。	○
6. 事業の採択要件を満たしていること。	・ 事業実施要綱・要領に規定された事業内容、採択基準の要件に適合していること。 ・ 採択に係る事業の工期が、別に定められた「限度工期」を超えないこと。	○

項目を満たしている場合は「○」とする。

項目欄の（ ）には、主として考えられる観点を記述している。

平成21年度 新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：北海道開発局）（地区名：安平川（二期））

2. 優先配慮事項

【効率性・有効性】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
効率性	事業の経済性・効率性		①事業費の経済性・効率性の確保 ②コスト縮減についての具体的配慮	—	○ ○	A
有効性	食料の安定供給の確保	農業生産性の維持・向上	土地生産性及び労働生産性の維持・向上効果額（受益面積あたり）	千円/ha・年	905	B
			農業産出額（事業地区市町村の面積当たり）	千円/ha・年	1253	A
		野菜・果樹等の産地形成	野菜指定産地・果樹濃密生産団地の指定作物の計画作付面積割合（受益面積当たり）	%	—	—
		農業水利施設の保全・管理	機能保全コスト（ライフサイクルコスト）の比較・検討	—	—	—
	農業の持続的発展	望ましい農業構造の確立	認定農業者の割合（総農家当たり）	%	7.9	B
			経営耕地面積（一戸当たり）	ha/戸	20.4	A
		農地の確保・有効利用	作付率の増加ポイント	%	—	—
		農業生産基盤の保全・管理	施設の更新整備の緊急性	—	A	A
	農村の振興	地域経済への波及効果	他産業への経済波及効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	—	—
		地域用水機能の維持・増進、水資源の有効活用（快適性の向上）	地域用水効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	—	—
	多面的機能の発揮	環境機能の維持・増進	環境関連効果額（受益面積当たり）	千円/ha・年	1	B

【事業の実施環境等】

評価項目			評価指標	単位	評価結果	評価
大項目	中項目	小項目				
事業の実施環境等	環境への配慮	生態系	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた生態系配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成への取り組み ④維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況		a a a a	A
		景観	①地域や事業の特性を考慮した調査・検討 ②環境情報協議会の意見を踏まえた景観配慮 ③地域住民の参加や地域住民との合意形成への取り組み ④維持管理、費用負担及びモニタリング体制等の調整状況		a a a a	A
	関係計画との連携		①関係都道府県や市町村の農業振興計画と本事業との整合性		a	A
	関係機関との協議		①河川管理者との協議(予備)(23条)の状況 ②漁協との協議(予備)の状況 ③その他着工前に重要な協議(予備)の状況		a — a	A
	関連事業との調整		①事業主体から概略構想(関連事業調書)の提出 ②共同事業(事業内容、事業費、アロケ等)の事前了解		a —	A —
	地元合意		①事業実施に対する受益農家の同意状況 ②事業実施に対する関係市町村の同意状況		a a	A
	事業推進体制		①事業推進協議会の設立 ②事業推進協議会から着工要望の提出		a a	A
	維持管理体制		①予定管理者の決定 ②維持管理方法と費用負担に関する予定管理者との合意		a a	A
	営農支援体制		営農推進組織等(営農支援体制)の設立状況		a	A

平成21年度 新規地区採択チェックリスト（国営かんがい排水事業）

（局名：北海道開発局）（地区名：安平川^{あびらかわ}（二期））

3. 特定監視項目（国営かんがい排水事業）

項 目	評 価 の 内 容	判定
1. 地質状況	・地質状況に基づいた施設計画としている。	○
2. 受益面積	・最近年の面積を把握している。	○

項目を満たしている場合は「○」とする。